

科 目 名	運 動 学 実 習 【 作 業 】					開 講 キャンパス	神 埼
担 当 者	江 渡 文						
開 講 年 次	2	開講期	前期	単位数	1	必修・選択	必 修（作業）
授業の概要 及びねらい	本実習では臨床運動学的計測などを行い、正常な関節構成体の形態および関節運動を理解する。動作分析を通じて四肢および体幹の運動様式について理解する。具体的には日常生活動作に関して動作分析等の実習やディスカッションを行う。						
授 業 の 到 達 目 標	1）人間の様々な姿勢を質的観察・分析し、その結果を運動学的に記述できるようになる 2）人間の身体動作の要素を分析し、その結果を運動学的に記述できるようになる 3）ADLなどの諸動作を把握できるようになる 4）人間の正常動作を把握できるようになる 5）生後1年以降の正常発達を理解する 6）正常発達の知識を生かし、人間の正常動作を把握できるようになる 7）正常発達の知識を生かし、人間の正常動作を説明・記述出来るようになる						
学 習 方 法	講義、ディスカッション、グループ実習・発表						
テキスト及び参考書等	エッセンシャル・キネシオロジー 弓岡光徳（南江堂）、機能解剖学的触診技術 上肢 林典雄（MEDICAL VIEW）						
評 価 基 準 ・ 方 法	到 達 目 標						評価割合%
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲・態度	技能・表現			
定期試験	◎					60	
小テスト等	○					10	
宿題・授業外レポート							
授業態度	◎					10	
受講者の発表		○				10	
授業への参加度				◎		10	
その他							
合 計							100
(表中の記号 ○評価する観点 ◎評価の際に重視する観点)							
授業計画（学習内容・キーワードとスケジュール）							
第 1 週	オリエンテーション、応用運動学について（正常発達：演習）						
第 2 週	応用運動学について（正常発達：演習）						
第 3 週	応用運動学について（正常発達：演習）						
第 4 週	応用運動学について（質的動作分析1：講義）						
第 5 週	応用運動学について（質的動作分析2：ディスカッション）						
第 6 週	実習に関するオリエンテーション（グループ編成と実習内容の決定）						
第 7 週	グループ別実習（肩関節について）						
第 8 週	グループ別実習（肩関節について）						
第 9 週	グループ別実習（肘関節について）						
第 10 週	グループ別実習（肘関節について）						
第 11 週	グループ別実習（手関節について）						
第 12 週	グループ別実習（手関節について）						
第 13 週	グループ別実習（手について）						
第 14 週	グループ別実習（脊柱について）						
第 15 週	まとめ						
第 16 週	試験						
備 考	グループ実習の際は積極的に実技・触診等を行い、理解しにくいことはその場で質問するように。						